

# 順天堂大学医学部附属静岡病院救急科専門医研修プログラム (順天堂大学医学部附属静岡病院)

## 1 はじめに

当救急専門医研究プログラムでは、大学附属病院とドクターヘリ基地の特性を生かした救急科における最先端の専門知識と臨床手技、臨床研究の遂行法、off the job training の教育技法などを身に付けます。連携施設では、地域特有の医療事情を経験します。これらを通じて日本を含め世界で活躍できる広い視野を持った救急専門医を育成します。



プログラム統括責任者 順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科教授 柳川洋一

## 2 目的

専攻医は救急科領域の専門研修プログラムによる専門研修により、以下の能力が備わることを目指す。

① 様々な傷病、緊急度の救急患者に、適切な初期診療を行える、② 複数患者の初期診療に同時に対応でき、優先度を判断できる、③ 重症患者への集中治療が行える、④ 他の診療科や医療職種と連携・協力し、良好なコミュニケーションのもとで診療を進めることができる、⑤ 必要に応じて病院前診療を行える、⑥ 病院前救護のメディカルコントロールが行える、⑦ 災害医療において指導的立場に対応できる、⑧ 救急診療に関する教育指導が行える、⑨ 救急診療の科学的評価や検証が行える、⑩ プロフェッショナルリズムに基づき、最新の標準的知識や技能を継続して修得し、能力を維持できる、⑪ 救急患者の受け入れや診療に際して倫理的配慮を行える、⑫ 救急患者や救急診療に従事する医療者の安全を確保できる。

## 3 研修病院群

### (1) 専門研修基幹施設

救急外来患者数は年間約 13,000 人、救急車受入数約 6,000 台、ドクターヘリ受入数 1,000 件前後、緊急入院用集中治療室病床数 34 床（救急診療科入院病床は一般床含め 22 床以上）であり、静岡県東部地域の基幹病院である当院では、小児から高齢者、内因性から外因性までの救急疾患全般を幅広く経験することが可能です。当科では 2 名の救急指導医が在籍しているため、静岡県で唯一の指導医施設資格を取得しています。専攻医は救急外来診療、集中治療、院内急変対応、ドクターヘリやドクターカーによる病院前診療を担当します。重症例については上級医と一緒に診療する体制をとっています。毎日の救急外来並びに入院症例検討会および回診により、全症例について出勤者全員で検討し、チーム医療としての方針を決めています。一般的な救急診療の他、減圧症、高山病、動物による障害、特殊なレジャーに関わる外傷診療等、都会では経験できない診療が経験できるのも当科の特色です。ドクターヘリやドクターカー活動では、消防・警察・行政・市民等との連携が不可欠なため、これらの活動を通じてメディカルコントロール、社会活動、メディア対応を経験できます。機会があれば大規模災害診療の経験も

可能です。また、救急診療を通じて学術的な研修を行い、当科から国内外へ情報を数多く発信しているため、海外から多くの研修生も当科に訪れ、彼らと共に国際交流の経験を積むことも可能です。昨年はプログラム専攻生が国際学会で発表しています。また、静岡県では最多の研修医が当院で研修しており、研修医への教育を行うことで自ら成長もできます。また、大学院生を兼務して救急専門医の他、医学博士号を取得できるのも、大学付属病院の当院の特徴です。更に当科の勤務は on, off がしっかりとしており、オフでは伊豆半島の温泉、海、山の自然溢れた環境で様々な娯楽が楽しめます。

## (2) 専門研修連携施設

- (1) 順天堂大学医学部附属順天堂医院（東京都文京区）日本最古の病院であり、数多くの難治性疾患患者が通院しており、一般救急の他、難治性疾患急変対応を学ぶ事ができる。
- (2) 順天堂大学医学部附属浦安病院（千葉県浦安市）三次救命救急センターであり、またこども救急センターを併設し、小児救急疾患対応を学ぶことができる。
- (3) 順天堂大学医学部附属練馬病院（東京都練馬区）三次救命救急センターに昇格し、同病院における救急対応と集中治療を学ぶ事ができる。
- (4) 静岡県立総合病院（静岡県静岡市）静岡県中部の代表都市である静岡市の公立病院で、かつ高度救命救急センターを有する同病院における救急対応を学ぶ事ができる。
- (5) 沼津市立病院（静岡県沼津市）静岡県東部の代表都市である沼津市の公立病院で、かつ救命救急センターを有する同病院における救急対応を学ぶ事ができる。
- (6) 下田メディカルセンター（静岡県下田市）下田地域の救急医療を担う重要な病院であり、二次救急対応を学ぶことができる。
- (7) 西伊豆健育会病院（静岡県賀茂郡）西伊豆地域の救急医療を担う重要な病院であり、二次救急対応を学ぶことができる。
- (8) 横浜労災病院（神奈川県横浜市）神奈川県の代表都市である横浜市の公立病院で、かつ救命救急センターを有する同病院における救急対応を学ぶ事ができる。
- (9) 川崎市立井田病院（神奈川県川崎市）神奈川県の代表都市である川崎市の公立病院で、二次救急対応を学ぶことができる。
- (10) 防衛医科大学校病院（埼玉県所沢市）防衛省所属の三次救命救急センターであり、救急対応や国家安全保障の概念を学ぶ事ができる。
- (11) 伊東市民病院（静岡県伊東市）伊東地域の救急医療を担う重要な病院であり、二次救急対応を学ぶ事ができる。
- (12) 公立昭和病院（東京都小平市）東京都の地方都市である小平市の公立病院で、かつ救命救急センターを有する同病院における救急対応を学ぶ事ができる。
- (13) 富士宮市立病院（静岡県富士宮市）富士宮地域の救急医療を担う重要な病院であり、二次救急対応を学ぶ事ができる。
- (14) 小田原市立病院（神奈川県小田原市）神奈川県の代表都市である小田原市の公立病院で、かつ救命救急センターを有する同病院における救急対応を学ぶ事ができる。
- (15) 伊豆赤十字病院（静岡県伊豆市）伊豆地域の救急医療を担う重要な病院であり、二次救急対応を学ぶ事ができる。
- (16) 済生会宇都宮病院（栃木県宇都宮市）栃木県の代表都市である宇都宮市の公立病

院で、三次救急対応並びに集中治療を学ぶことができる。

- 専攻生の希望に応じて連携施設を増やすことは可能です。

#### 4 専攻医受入数

3 名

#### 5 研修期間

- (1) プログラム全体の研修期間は 3 年間です。
- (2) 1- 2 年は順天堂大学医学部附属静岡病院で基本的に研修を行います。
- (3) 2 年目以降、上記の専門研修連携施設で研修を行うことが可能です。

#### 6 研修計画（例）

1~2 年 順天堂大学医学部附属静岡病院

2 年目以降 上記の専門研修連携施設で研修も可能。上記以外の連携施設での研修希望は要相談で、柔軟にカリキュラムを変更することも可能です。

#### 7 問い合わせ先

〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡 1129

順天堂大学医学部附属静岡病院 臨床研修センター

電話：055-948-3111 / Fax:055-948-5088

E-mail:shizuoka-kenshu@juntendo.ac.jp

URL：<https://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/trainee/latter/>

プログラム責任者 順天堂大学医学部附属静岡病院救急診療科教授 柳川洋一

## 8 「静岡県キャリア形成プログラム」における取扱い

### (1) 領域、プログラムリーダー

領域：救急診療科、プログラムリーダー：救急診療科 教授 柳川 洋一

### (2) キャリア形成プログラム受入見込み数

「4 専攻医受入数」の内数 3名

### (3) 具体的なコース

後期研修、後期研修後の7年間のうち4年間で医師少数区域または医師少数スポットで勤務

初期研修	後期（専門）研修	後期（専門）研修後
2年	3年	4年
県内病院	<b>【基幹病院】</b> 順天堂大学静岡病院 （1～1年半） <b>【連携病院】</b> （4）に記載の医療機関 （1年半～2年間）	<b>【基幹病院】</b> 順天堂大学静岡病院 （1年半～2年間） <b>【連携病院】</b> （4）に記載の医療機関 （2～2年半）

### (4) 勤務する医療機関

二次医療圏	後期（専門）研修	後期（専門）研修後
賀 茂	<u>西伊豆健育会病院、下田メディカルセンター</u>	<u>西伊豆健育会病院、下田メディカルセンター</u>
熱海伊東	<u>伊東市民病院</u>	<u>伊東市民病院</u>
駿東田方	沼津市立病院、 <u>伊豆赤十字病院</u>	沼津市立病院、 <u>伊豆赤十字病院</u>
富 士	富士宮市立病院	富士宮市立病院
静 岡	静岡県立総合病院	静岡県立総合病院
志太榛原		
中東遠		
西 部		

※下線は、医師少数区域、医師少数スポットに所在する病院

### (5) 取得できる資格

救急専門医、航空医療学会認定指導者、集中治療専門医、外傷専門医、クリニカルトキシコロジスト、他科専門医

## **(6) 問い合わせ先**

順天堂大学医学部附属静岡病院

事務取扱：臨床研修センター

〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡 1129

TEL 055-948-3111（内線：3104）

E-mail：shizuoka-kenshu@juntendo.ac.jp

病院HP：<https://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/>